

医療法人社団広恵会 春山外科病院

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-24-5 TEL 03-3363-1661 FAX 03-3371-1021
<http://www.haruyama-hosp.com> e-mail : info@haruyama-hosp.com

「便秘って、出ないことでしょ？」

診療部 消化器外科
 小西 宗明

消化器外科医として臨床の現場で診察していると、当然のことながら腹痛を訴えて来院されるかたを大勢診ることになります。訴える内容としては、おなかをさすりながら「この辺が痛い」と言うかたもいれば、具体的に「胃が痛い」と言うかたもいます。

では、そういう人たちの中で最も多い病気は何でしょうか。

胃腸炎？ 胃潰瘍？ 盲腸？ たしかにそういう病気の人もいるのですが、一番多いのは、実は便秘なのです。

「便秘なんて病気じゃないだろ」とおっしゃるなれ。便秘のために激痛が生じて、アブラン汗を流してうめきながら救急車で来院する人も少なくありません。

たとえば腹部レントゲンで大腸に便がたくさん詰まっているのがわかったら、便秘による腹痛の可能性は高いです。そこで、「あなたの大腸にはほら、こんなに便が貯まっています。立派な便秘ですよ」と説明するのですが、中には納得してくれない人もいます。

「私が便秘のはずはない。だって毎日出ています。今日も出了ました」

そうじゃありません。何日も出ないのが便秘だ、と思ったら間違い。もちろん、便秘じゃなければ毎日出るわけですが、毎日出歩いても便秘という人は大勢います。

それは、「毎日出ているけど、出ているのは出口の近くだけ。大腸のもっと上流にはいつでも便がギッシリ」という人です。本人がどう思おうと、これは便秘。貯まった便のために大腸の壁が引き伸ばされて、痛みが起きます

ところが、そう説明してもまだ納得してくれない人も多いです。「私が痛いのは胃です（と言いながらみぞおちを指す）便秘なら痛いのは腸でしょ（と、下腹部を指す）」

それも違うんです。指先のように感覚が繊細な部分なら1ミリ離れた2つの砂粒が区別できます。でもおなかの中は感覚が鈍くて痛い場所とその原因になる場所が必ずしも同じではありません。だから虫垂炎（いわゆる盲腸）のときなんか、最初に胃のあたりが痛くなることがよくあるのです。

つまり、胃のあたりが痛くても、胃に病気があるとは限りません。便秘がそういう感覚（胃に病気がないのに胃が痛い感じがする感覚）を生むことのほうが、よっぽどありふれことです。



【裏面に続く】\



数字で見る!! 春山外科病院



平成22年1月～平成22年6月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
外来患者延べ数	3,813	3,868	4,502	4,268	4,295	4,636	25,382
入院患者延べ数	1,614	1,508	1,692	1,488	1,586	1,482	9,370
搬送救急車台数	359	391	437	412	387	393	2,379
平均在院日数	15.7	13.8	15.0	14.0	14.2	12.7	14.2
手術件数	55	60	66	74	60	70	385

【表面より】

また、便秘の人はしばしば下痢もします（しない人もいますけど）。

そう説明すると、またしても食ってかかられることも多いのです。

「バカなこと言うな。便秘と下痢なんて、まったく逆じゃないか」

いえいえ、逆どころか、便秘と下痢はとても近い関係にあるのです。

便秘していると、大腸は次第につらくなってきて（本人がつらいと感じるかどうかは別）、貯め込みすぎた便を一気に出してしまおうとします。日頃サボってあまり動いていなかったのに、急に激しく動きます。それで下痢をするのです。このときにも強い腹痛が起きることが多いです。

一旦下痢をして大腸が空になると、大腸としては楽になるので、またサボります。動きが低下して、また便秘に突入していくわけです。

そうすると、便秘と下痢を交互に繰り返すようになります。そういう人は、便秘をするから下痢をするのであって、便秘が解消したら下痢もしにくくなるのです。

ではどうしたらしいか。

要するに、適切な便秘薬を、適切に使わないといけません。

「わたしや薬はイヤです。そんなものに頼らず、アロエ（人によってはヨーグルトやら多量の水やら、お好きなものもいろいろですが）で便秘解消をめざします」などと言って抵抗されることも多いのですが、あのね、ちょっと食事内容を変えただけで便秘解消するくらいなら、最初から便秘になんかなってませんてば。

ちなみに、便秘をほっとくとどうなるか。

いろいろと恐い研究結果が出ています。大腸癌の原因になることもあります、一見関係なさそうな乳癌の原因にさえなると言われています。それ以外にも、過呼吸症候群（パニック障害）やら過敏性大腸炎などなど、困った病気をもたらすことがあるようです。

中には、実はもっと大きな病気が隠れていて、その病気のために便秘になっていたとわかることがあります。たかが便秘、などと侮ってはいけません。

下剤の正しい使いかたについてのご相談も含めて、便秘の悩みやおなかの問題あれこれについても、ご相談ください。もし隠れた病氣があるなら早くみつけて対処するのが何よりです。調べても病氣がなかったなら、安心して暮らしていただけるでしょう。

人間、おいしいものを楽しく食べられる健康が、何よりありがたいものです。それを得られるお手伝いをしていきたいと思います。



春山外科病院の理念と基本方針

病院理念

救急医療活動を中心とし、さらに地域に密着した急性期病院として、常に患者の皆様に安心で信頼される医療を提供できるよう努力してまいります。

基本方針

1. 急性期疾患と救急医療にあたる地域の中核病院として常に医療技術の向上を図り、最善の医療を提供できるよう努力いたします。
2. 患者様の権利を尊重し、患者様との信頼関係のもとで安全で納得のできる医療を確保するため、患者様自らにさまざまな医療の現場で、診療に積極的に参加していただき、患者様とのより良きパートナーシップを構築するよう心がけてまいります。
3. 医療設備の充実や療養環境などの改善により、病院機能の充実・強化を行い、適切な医療サービスを提供できるように努めます。
4. 地域の医療・福祉機関等との連携を強化し、地域のニーズに適応した医療を提供致します。
5. スタッフと病院がともに発展できる、働きがいのある職場を目指します。
6. 健全な経営を維持し、その成果を医療活動を通じて地域に還元します。

患者様の権利

当院では下記の患者様の権利を守ることを宣言します。

良質な医療を公平に受ける権利

患者様はだれでも社会的な地位、疾病も種類、宗教などにより差別されることはなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利を持っています。

選択の自由の権利

患者様は担当の医師、病院等を自由に選択し、また変更する権利があります。また、いかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有しております。

情報を得る権利

患者様には、自身の病状や治療について医療上の記載されている情報を受ける権利を有しています。また、納得出来るまでわかりやすく充分な説明を受ける権利があります。

自己決定の権利

患者様は、情報と医療従事者の誠意ある助言・協力を得たうえで、自己の自由な意思に基づいて、検査・治療その他の医療行為を受け、選択し、あるいは拒否する権利を有します。

プライバシーを保護される権利

患者様には、医療過程で得られた個人情報の秘密が侵されない権利があります。

尊敬を得る権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利を有します。また痛みをはじめとする苦痛の除去を受ける権利があります。

医療機関の皆様へ

《検査依頼》

CT、MRI、脳波など各種検査予約は、下記時間帯にお電話にて承ります。

平日 9:00～17:00（土曜日～16:00）

《入院依頼》

9:00～17:00の診療時間内の入院依頼は診療担当医又は鈴木が対応いたします。
夜間、休祭日は当直医が対応いたします。
その他のご相談は医療相談室で承ります。

編集後記



今年の夏も猛暑になりそうですね（汗）すでに当院にも熱中症で搬送された患者様がたくさんいらっしゃいます。

熱中症対策はやはり、屋内外に関わらず、適温確保と充分な水分補給ですね。

しかし、早い話ですが、この暑さが続けば来年の花粉も猛威をふるいそうですね…。

地域連携室長(副院長) - 岡田和紀

合田 高原 土屋 内山 奥村 宮城 大比良 中田